

1日目 11月13日(木) A会場 AOSSA 8F 福井県県民ホール

12:40-13:40
開会式 会員集会

13:40-14:40
学会賞授与式・記念講演

優秀論文賞

児童精神科医療及び精神科救急医療従事者のLGBTへの肯定的臨床実践の自己評価に関する横断調査
早川 麻耶（横浜市立大学医学研究科精神医学教室）
児童精神科病棟における行動制限を受けた児の退院後の適応状況と主観的影響
栗田 真理子（子どものこころの診療所）

研究奨励賞

注意欠如・多動症と自閉スペクトラム症における共通および特異的な神経基盤：
神経心理学的課題を用いた243の機能的核磁気共鳴画像のメタ解析
多門 裕貴（医療法人社団増田厚生会清川遠寿病院）
不登校開始時期の違いによる児童精神科患者の臨床的特徴について：単施設症例対照研究
佐々木 祥乃（東京科学大学精神行動医科学分野）

14:50-16:20
シンポジウム 3
子どものトラウマ治療技法としてのナラティブ・エクスポージャー・セラピーの近年の展開と有用性
司会：大石 聡（静岡県立こども病院 こころの診療部こころの診療科）
司会：八木 淳子（岩手医科大学 医学部 神経精神科学講座 教授）
S3-1 ナラティブ・エクスポージャー・セラピーという治療技法について（総論）
森 茂起（甲南大学人間科学研究所）
S3-2 ナラティブ・エクスポージャー・セラピー（以下NET）の児童精神科医療領域での実践
大石 聡（静岡県立こども病院 こころの診療部こころの診療科）
S3-3 ナラティブ・エクスポージャー・セラピーの児童福祉施設における実践と課題
中村 有生（兵庫県立清水が丘学園 治療課）
指定発言：八木 淳子（岩手医科大学 医学部 神経精神科学講座 教授）

16:30-17:30
特別講演 1
選手育成の最前線～男子バレーのケース～
司会：小坂 浩隆（福井大学医学部 精神医学）
演者：中垣内 祐一（福井工業大学 スポーツ健康科学部）

17:40-19:10
シンポジウム 6
発達障害の子たちが安心して飛行機に乗れるようにする取り組み～世界に羽ばたけ、日本の発達障害支援！～
司会：宮崎 健祐（弘前愛成会病院 精神科）
S6-1 発達障害の子達の飛行機搭乗支援のこれまでと、これから
宮崎 健祐（弘前愛成会病院 精神科）
S6-2 ANAにおける発達障がい支援について
中野 京子（全日本空輸株式会社 CX 推進室 CX 戦略部）
S6-3 JAL グループにおけるアクセシビリティ向上の取り組みについて
藤田 凌輔（日本航空株式会社 CX 推進部企画推進グループ）
S6-4 自閉症フレンドリーな取り組み―「いとしご」からみなさまへ
木村 一優（医療法人社団新新会 多摩あおば病院 副院長）

1日目 11月13日(木) B会場 AOSSA 8F リハーサル室

14:00-15:00
一般口演 1
ADHD 1
司会：片山 寛人（こころとからだクリニック福井）
O1-1 就学前の注意欠如多動症児におけるインターネット親子相互交流療法（I-PCIT）の有効性：ランダム化比較試験
○川崎 雅子^{1・4}、松本 慶太²、毛利 育子⁴、花房 昌美³、三宅 和佳子^{5・6}、下野 九理子⁴、加茂 登志子^{1・7}、藤野 陽生^{4・8}、橘 雅弥⁴
1. 一般社団法人日本PCIT研修センター、2. 大阪市立総合医療センター 児童青年精神科、3. 大阪精神医療センター、4. 大阪大学大学院連合小児発達学研究科、5. 兵庫県こころのケアセンター、6. 大阪母子医療センター、7. 若松町こころとひふのクリニック、8. 大阪大学大学院人間科学研究科
O1-2 近年の注意欠如多動症に関連するスティグマ
武田 瑞穂
十文字学園女子大学
O1-3 立位のビデオ撮影による注意欠如多動症における多動の定量評価
○六田 泰央¹、山田 晶子⁵、森本 佳奈¹、佐々木 彩恵子⁸、才田 晴奈⁴、宇留野 圭⁷、砂田 桃⁶、栗添 恵理³、山田 真穂³、長尾 海里⁶、戸瀬 景茉²、稲葉 啓通²、義村 さや香⁵、磯部 昌憲²、上月 遥²、村井 俊哉¹
1. 京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座（精神医学）、2. 京都大学医学部附属病院 精神科神経科、3. 京都大学医学部附属病院 臨床心理室、4. 京都大学大学院医学研究科 発達小児科学、5. 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 先端作業療法学講座、6. 稲門会 いわくら病院、7. 洛和会音羽病院 小児科、8. 京都大学医学部附属病院 小児科
O1-4 当クリニックでの注意欠如多動症に対する中枢刺激剤治療を振り返る第1報：短時間作動型Methylphanidateから長時間作動型Methylphanidateに切り替えた72例の検討より
○平谷 美智夫¹、小坂 拓也^{1・2}、前田 夢吉^{1・2}、平谷 清吾^{1・3}、滝口 慎一郎¹
1. 平谷こども発達クリニック、2. 福井大学医学部小児科、3. 松原病院精神科
O1-5 当クリニックでの注意欠如多動症に対する中枢刺激剤治療を振り返る第2報：メチルフェニデート徐放錠からリスデキサンフェタミンメシル酸塩カプセルに切り替えた156例の検討より
○滝口 慎一郎¹、小坂 拓也^{1・3}、前田 夢吉^{1・3}、平谷 清吾^{1・2}、平谷 美智夫¹
1. 平谷こども発達クリニック、2. 松原病院精神科、3. 福井大学医学部小児科

15:10-16:10

一般口演 4

ASD 1

司会：磯部 昌憲（京都大学医学部附属病院）

O4-1 自閉スペクトラム症を背景に自殺企図をきたした高校 2 年生の治療を通じて

○高橋 有樹^{1・2}、佐々木 祥乃²

1. 稲城台病院、2. 東京科学大学病院

O4-2 繰り返す自殺企図の対応に苦慮した自閉スペクトラム症の一例

○山田 真穂^{1・5}、栗添 恵理^{1・5}、山本 沙也加⁶、辻元 健太郎²、柴田 直人^{4・5}、米田 拓矢^{3・5}、

上月 遥^{2・5}、村井 俊哉²、磯部 昌憲^{2・5}

1. 京都大学医学部附属病院 臨床心理室、2. 京都大学医学部附属病院 精神科神経科、
3. 京都大学医学部附属病院 精神科相談室、4. 京都大学医学部附属病院 デイケア診療部、
5. 京都大学医学部附属病院 児童思春期こころの相談センター、
6. 京都女子大学大学院こころの相談室

O4-3 Early Start Denver Model (ESDM) による介入時のアイコンタクトおよび発声の継時的変化

○館農 幸恵¹、山本 彩²、白石 映里¹、下村 遼太郎¹、南波 江太郎¹、館農 勝¹

1. ときわこども発達センター、2. 札幌学院大学

O4-4 自閉スペクトラム症幼児の支援効果をどう測るか：生理指標 Gaze Finder と心理検査の比較検討

○黒田 美保¹、浜田 恵²

1. 田園調布学園大学、2. 中京大学

O4-5 目領域注視時の瞳孔径変化の大きさと社会的情報への注視の関連性

○藤岡 徹^{1・2・3}、小坂 浩隆^{2・3・4・5}

1. 福井大学教育学部、2. 連合小児発達学研究科、3. 福井大学病院子どものこころ診療部、
4. 福井大・子どものこころの発達研究センター、5. 福井大学医学部精神医学

16:20-17:20

一般口演 7

ASD 2

司会：川谷 正男（福井県こども療育センター）

O7-1 「支援が繋がる」連携

ー自閉スペクトラム症（以下 ASD）男児への 10 年間の支援の連携事例を通してー

○久賀谷 洋¹、田中 一史²

1. オフィスぼん、2. 京都市児童福祉センター

O7-2 自閉スペクトラム症における風景構成法の描画表現

○栗添 恵理¹、六田 泰央³、山田 真穂¹、櫻田 千早⁸、長尾 海里⁶、山本 沙也加⁷、才田 晴奈⁴、

佐々木 彩恵子⁴、宇留野 圭⁵、戸瀬 景栄²、上月 遥²、磯部 昌憲²、村井 俊哉²

1. 京都大学医学部附属病院 臨床心理室、2. 京都大学医学部附属病院 精神科神経科、
3. 京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座、4. 京都大学医学部附属病院 小児科、
5. 洛和会音羽病院 小児科、6. いわくら病院 臨床心理室、
7. 京都女子大学大学院 こころの相談室、8. 東京科学大学病院 精神科

O7-3 ASD 疑いの乳幼児に対する「既製品おもちゃ」による遠隔早期療育

○太田 英伸、JST COI stream group

1. 秋田大学大学院 医学系研究科 作業療法学講座

O7-4 少子高齢化の進む小規模自治体における発達支援事業の効果検証：ソーシャルスキル・トレーニング事業に関するインタビュー調査

○金納 史佳^{3・4}、義村 さや香^{1・4・5}、志澤 美保²

1. 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系 先端作業療法学講座、
2. 京都府立大学医学部看護学科、3. 佛教大学、4. 京都大学医学研究科 ASD project、
5. 神経発達症研究推進機構

17:30-19:00

災害対策委員会セミナー

実際に災害が起こった時に、私たちはどう対応するのか？何ができるのか？ー南海トラフ地震を想定してー

司会：伊藤 一之（静岡県立こども病院）

司会：田中 恭子（国立病院機構 菊池病院）

CS2-1 実際に災害が起こった時、児童精神科専門医療機関として何ができるのか？

ー Business continuity planning の見直しからー

中西 大介（三重県立子ども心身発達医療センター）

CS2-2 児童相談所の立場から

吉川 徹（愛知県西三河福祉相談センター児童専門監）

CS2-3 大規模災害における学校での支援と南海トラフに向けての準備

小林 朋子（静岡大学教育学部・静岡大学防災総合センター）

1 日目 11 月 13 日（木）C 会場 AOSSA 7F 706・707	
14:00-15:00	
一般口演 2	
自施設の取組 1	
司会：小野 真樹（愛知県医療療育総合センター中央病院）	
02-1	東日本大震災後に出生した子どもを持つ家庭におけるトラウマ症状の推移の同定と、子どもへの関連の検討 ○千葉 柊作^{1・2}、八木 淳子^{1・3}、山家 健仁^{1・3}、内出 希^{1・3}、吉岡 靖史^{1・3}、松尾 菜津美^{1・3}、福地 成^{4・5}、榎屋 二郎⁶、松浦 直己⁷ 1. 岩手医科大学附属病院 児童精神科、2. 東北大学大学院教育学研究科、3. 岩手医科大学 神経精神科学講座、4. 東北医科薬科大学医学部 神経科学教室、5. 公益社団法人 宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター、6. 東京医科大学医学部、7. 三重大学教育学部
02-2	知的発達症入所施設における薬物療法の経年変化 高橋 和俊 ゆうあい会石川診療所
02-3	長浜赤十字病院における過去 3 年間の自殺関連事象による未成年の救急受診患者の傾向と包括的支援の取り組み ○沖野 剛志、池田 仁 長浜赤十字病院 精神神経科
02-4	児童心理治療施設における成長鈍化の実態と背景因子の検討 倉田 和美 国際医療福祉リハビリテーションセンター なす療育園
02-5	性虐待を受けた児童思春期入院患者における診断と初動対応の実態 ○神蘭 淳司¹、安部 泰弘¹、植木 悠介¹、梶原 眞理¹、坂本 奈緒²、大治 太郎¹ 1. 社会医療法人聖ルチア会 聖ルチア病院、2. 医療法人横田会 光陽台病院

15:10-16:10

一般口演 5

自施設の取組 2

司会：林 みづ穂（仙台市精神保健福祉総合センター）

- 05-1 **ゲーム障害に関する集団プログラムに遊びを取り入れて**
藤木 幸司
大阪精神医療センター
- 05-2 **岩手医科大学附属病院児童精神科におけるトラウマ関連症状を有する入院患者への TF-CBT の有効性の検討**
○石山 雄大^{1・2}、山家 健仁^{1・2}、内出 希^{1・2}、吉岡 靖史^{1・2}、千葉 柊作²、小川 香織²、松尾 菜津美^{1・2}、佐々木 夢佳^{1・2}、安藤 佑祥^{1・2}、八木 淳子^{1・2}
1. 岩手医科大学医学部神経精神科学講座、2. 岩手医科大学附属病院児童精神科
- 05-3 **小集団でのサポートブック作成による障害受容段階に応じた保護者支援の取り組み**
○森 麻子
大阪精神医療センター
- 05-4 **いちかわこころの相談所むすび葉における保護者支援の在り方
～保護者の初回面接の語りに関する質的調査～**
○忍足 美良乃¹、渡邊 未来¹、二宮 宗三^{1・2}、篠原 玲奈²、砂川 ひかる^{2・3}、川添 万葉²、田岡 由紀子^{2・4}、牛島 洋景²
1. いちかわこころの相談所むすび葉、2. うしじまこころの診療所、3. 国立病院機構下志津病院、4. 船橋市総合教育センター
- 05-5 **精神科児童思春期患者における作業療法介入の意義**
○白戸 晶¹、山田 智子²
1. 社会医療法人居仁会 総合心療センターひなが リハビリテーション部 作業療法課、2. 社会医療法人居仁会 総合心療センターひなが 児童精神科

16:20-17:20

一般口演 8

心理社会的要因

司会：森岡 由起子（聖学院大学心理福祉学研究科）

- 08-1 **機能性難聴を呈する子どもの神経発達症傾向および心理社会的要因に関する検討**
○松本 恵^{1・2}、中川 あや³、藤野 陽生^{1・7}、三好 紀子⁴、木村 亮^{2・5・6}
1. 大阪大学大学院人間科学研究科、2. 大阪大学大学院連合小児発達学研究科 生命情報学、3. 市立池田病院、4. ためなが温泉病院、5. 大阪大学大学院医学系研究科 精神医学、6. 大阪大学 医学部附属病院子どものこころの診療センター、7. 大阪大学大学院連合小児発達学研究科
- 08-2 **成人発達障害における逆境の小児体験（Adverse Childhood Experience：ACE）の痕跡 2**
○榎戸 美佐子¹、角谷 陽平²、谷口 園子¹、米本 智美¹、大田垣 昂¹、藤田 宗久¹、松田 文恵¹
1. 医療法人社団和敬会 谷野呉山病院、2. 医療法人社団和敬会 谷野医院
- 08-3 **逆境の小児期体験（ACE）を有した若年妊娠女児との治療経過
～”子育て”に向けての包括的支援がもたらしたこと～**
○柳下 杏子^{1・2}、大橋 真季¹、柳下 道子¹
1. 社会福祉法人松原愛育会 石川療育センター、2. 社会医療法人財団松原愛育会 松原病院
- 08-4 **家族構造と家族機能による思春期患者に対する影響についての予備研究**
坂本 和海
神奈川県立精神医療センター

17:30-19:00
症例検討 1
司会：河邊 憲太郎（愛媛大学大学院医学系研究科 児童精神医学講座）
スーパーバイザー：松本 英夫（医療法人 丹沢病院）
C1-1 家族全体に精神疾患を認めた事例における親子同時診察の有用性と課題
片山 寛人
医療法人カンマ こころとからだクリニック福井

1 日目 11 月 13 日（木）D 会場 AOSSA 6F 福井市地域交流プラザ 研修室 601

10:40-12:40
代議員会

14:00-15:30
心理職・多職種連携委員会セミナー
自閉スペクトラム症に対する様々な支援・介入
司会：大賀 肇（三河病院）
司会：福田 理尋（岡山県精神科医療センター）
CS1-1 自閉スペクトラム症の超早期療育ー自然な発達行動介入（NDBI）とその一種であるアーリー・スタート・デンバー・モデル（ESDM）についてー
桑野 恵介（株式会社スペクトラムライフ）
CS1-2 自閉スペクトラム症の子どもの不安症状に対する認知行動療法
石川 信一（同志社大学心理学部）
CS1-3 UCLA PEERSR® 友だち作りの SST
山田 智子（枚方市教育委員会）
CS1-4 自閉スペクトラム症の子どもの入院治療における生活支援
則村 良（医療法人財団青溪会駒木野病院）

15:40-16:30
教育講演 1
日本における自閉スペクトラム症者の社会的カモフラージュ:安全にマスクを外すには何が必要か?
司会：山崎 史暁（千葉大学医学部附属病院 こどものこころ診療部）
演者：大島 郁葉（千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター）

16:40-17:30
教育講演 2
ICT による子どもの心のスクリーニング：現状と未来への課題
司会：足立 匡基（明治学院大学 心理学部）
演者：和久田 学（公益社団法人子どもの発達科学研究所 研究局）

17:40-18:30
教育講演 3
未来を紡ぐケアと選択～子どもの医療倫理と意思決定支援～
司会：中土井 芳弘（独立行政法人国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター児童精神科）
演者：笹月 桃子（早稲田大学 人間科学学術院）

1 日目 11 月 13 日（木）E 会場 AOSSA 6F 福井市地域交流プラザ レクリエーションルーム

14:00-15:30
シンポジウム 1
児童と青年のための構造化面接 K-SADS-PL-5 の臨床応用
司会：眞田 陸（福井大学 医学部精神医学）
司会：永田 利彦（壺燈会 なんば・ながたメンタルクリニック）
S1-1 なぜ半構造化面接か？：児童青年精神科診断における役割と進化
西山 毅（名古屋市立大学大学院 医学研究科公衆衛生学 准教授）
S1-2 構造化面接 K-SADS-PL-5 による行動障害の評価
東 琢磨（福井県立病院 こころの医療センター）
S1-3 構造化面接 K-SADS-PL-5 による不安症の評価
牧野 拓也（福井大学医学部附属病院 精神医学）
S1-4 構造化面接 K-SADS-PL-5 による抑うつ症と双極症の評価
鈴木 太（上林記念病院 こども発達センターあおむし）
指定発言：永田 利彦（壺燈会 なんば・ながたメンタルクリニック）

15:40-17:10
シンポジウム 4
児童精神科医療と地域資源
司会：山本 啓太（国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター ソーシャルワーク室 ソーシャルワーカー（医療社会事業専門職））
司会：吉村 裕太（福岡大学病院 精神医学教室 助教）
S4-1 能登半島基部の私立大学病院精神科が抱える地域連携の課題
木原 弘晶（金沢医科大学病院 精神神経科学 学内講師）
S4-2 地域の精神科単科病院における児童精神科診療の現状と課題
川原 一洋（医療法人信愛会 玉名病院 精神科・児童精神科 院長）
S4-3 児童精神保健福祉領域における地域資源について
原田 郁大（久留米市西部障害者基幹相談支援センター）
S4-4 地域資源としてのカウンセリングルームー保護者支援の実践から見た役割ー
二宮 宗三（いちかわこころの相談所 むすび葉 所長）

17:20-18:50
シンポジウム 7
地域特性をふまえた日本の児童青年期精神科救急の現状と課題
司会：藤田 純一（横浜市立大学附属病院 児童精神科）
司会：八木 淳子（岩手医科大学 医学部 神経精神科学講座）
S7-1 地方都市における精神科救急での子ども支援の現状
～病院・地域全体で子どもを支える治療文化の醸成を目指して～
齊藤 慧（岡山県精神科医療センター 医局）
S7-2 都市部精神科救急における子どもの支援 ― 地方の実践に学ぶ
廣内 千晶（横浜市立大学附属市民総合医療センター 精神医療センター 児童精神科）
S7-3 子ども救急の実態や課題～地方の精神科単科病院の立場から～
佐久間 睦貴（社会医療法人あさかホスピタル 児童思春期診療部 部長）
S7-4 地方の大学病院の立場から～児童精神科救急システムと初期対応、実態、専門療法への道筋～
内出 希（岩手医科大学 医学部神経精神科学講座 講師）

14:00-15:00

ポスター 1

入院治療

司会：萩野 和雄（福井厚生病院 ストレスケアセンター）

P1-1 神奈川県立こども医療センター児童思春期精神科入院治療における身体的拘束の現状について

○豊原 公司¹、栗原 太郎¹、永井 直子¹、浅川 嵩識¹、前川 優介¹、鈴木 悠¹、尾野 美奈子¹、山本 恭平²、庄 紀子¹

1. 神奈川県立こども医療センター、2. 大内病院 精神科

P1-2 阪南病院児童精神科専門病棟での患者－スタッフミーティング導入の報告

○飯塚 理、吉川 陽子、中井 大貴、魚住 広之、橋本 亮、山本 直毅、田村 和世、後藤 彩子、松島 章晃、横田 伸吾、黒田 健治

社会医療法人杏和会 阪南病院

P1-3 児童精神科病棟における集団療法プログラムの取り組み

○西村 翔、石田 喜子、堀井 一希

大阪市立総合医療センター 児童青年精神科

P1-4 神奈川県立こども医療センター児童思春期精神科入院治療における隔離の現状と課題

○栗原 太郎、豊原 公司、永井 直子、浅川 嵩識、前川 優介、鈴木 悠、尾野 美奈子、庄 紀子

神奈川県立こども医療センター児童思春期精神科

P1-5 大学病院精神科閉鎖病棟における小規模児童ユニット（4床）の運用の現状と課題

○島内 智子、小野 和哉、塚原 さち子、根本 泰明

聖マリアンナ医科大学 神経精神科

14:00-15:00

ポスター 19

ASD 7

司会：大嶋 正浩（医療法人社団至空会 メンタルクリニック・ダダ）

P19-1 発達障害児の障害児サービス利用に係るアセスメントシートの有用性に関する検討：医療従事者におけるインタビュー調査

○内山 登紀夫¹、下野 九理子²、宇野 洋太³、稲田 尚子⁴

1. 福島学院大学福祉心理学科、2. 大阪大学大学院連合小児発達学研究科、3. 大正大学カウンセリング研究所、4. 臨床心理学部 臨床心理学科

P19-2 発達障害児の障害児サービス利用に係るアセスメントシートの有用性に関する検討：共通理解を目指す

○稲田 尚子¹、内山 登紀夫²、小林 真理子³、下野 九理子⁴、川島 慶子²、宇野 洋太⁵

1. 大正大学臨床心理学部臨床心理学科、2. 福島学院大学、3. 山梨英和大学、4. 大阪大学、5. よこはま発達クリニック

P19-3 発達障害児の障害児サービス利用に係る「こどもの状態と環境のサマリーシート※1」（以下サマリーシート）の有用性に関する検討：自治体におけるインタビュー調査

○小林 真理子¹、武部 正明²、槻館 尚武¹、稲田 尚子³、川島 慶子⁴、鈴木 さとみ⁴、内山 登紀夫⁴

1. 山梨英和大学、2. 相模女子大学、3. 大正大学、4. 福島学院大学

P19-4 イングランドにおける発達障害の子どもを対象にした福祉サービスのシステムと課題－日本の障害児支援福祉制度との比較検討

○伊瀬 陽子¹、内山 登紀夫²、蜂矢 百合子³、川島 慶子²、鈴木 さとみ²

1. 福島県総合療育センター / 福島県発達障がい者支援センター、2. 福島学院大学、3. よこはま発達クリニック

15:10-16:10

ポスター 4

乳幼児・逆境体験

司会：太田 英伸（秋田大学大学院 医学系研究科作業療法学講座）

P4-1 受給者証の有無による身体発育の違い～乳幼児を対象に～

木村 拓磨

東海学園大学

P4-2 5歳児の睡眠や行動の問題とヘモグロビン・血清鉄・フェリチンとの関連

○吉田 和貴^{1,2}、斉藤 まなぶ³、照井 藍¹、坂本 由唯⁴、大里 絢子³、中村 和彦¹

1. 弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座、2. 医療法人社団聖康会 聖康会病院、3. 弘前大学大学院保健学研究科心理支援科学領域、4. 弘前大学医学部附属病院神経科精神科

P4-3 改訂版 思春期の親子間相互交流尺度（母親版）の開発

○柴田 康順¹、佐藤 篤司²、福榮 太郎³

1. 大正大学、2. 国際医療福祉大学、3. 横浜国立大学

P4-4 医療少年院における ACE（児童期逆境体験）と PCE（児童期肯定的体験）調査

○小野 剛^{1,2}、池田 有里¹

1. 東日本少年矯正医療・教育センター、2. 北里大学病院

P4-5 児童精神科病棟の入院治療で小児期肯定的体験（PCE）が子どもに及ぼす影響

○吉田 奈緒美¹、早川 宜佑¹、岩垂 喜貴¹、岡野 恵里香¹、清水 圭祐²、笠原 麻里¹

1. 医療法人財団青溪会 駒木野病院、2. 医療法人社団永生会 南多摩病院

14:00-15:00

ポスター 2

摂食症 5

司会：岡本 百合（広島大学保健管理センター）

P2-1 描画を用いた外在化が有効であった回避・制限性食物摂取症の1例

○平澤 桃子、森崎 敦夫、長沢 崇

東京都立小児総合医療センター 児童思春期精神科

P2-2 児童思春期の回避・制限性食物摂取症（ARFID）における複数同時期入院で認められた病理特性—神経性やせ症（AN）との比較と分裂（split）の防衛機制からの検討—

○塚原 さち子^{1・2}、根本 泰明^{1・2}、島内 智子²、小野 和哉²

1. 聖マリアンナ医科大学病院 精神療法・ストレスケアセンター、

2. 聖マリアンナ医科大学 神経精神科

P2-3 児童精神科クリニック外来における回避性 / 制限性食物摂取障害（ARFID）の臨床的考察

佐竹 宏之

さたけこども発達クリニック

P2-4 回避・制限性食物摂取症（ARFID）の臨床的特徴—神経性やせ症（AN）と比較して

○山中 清里¹、水井 亮¹、平井 靖明¹、北野 肖奈¹、川西 悠加²、生野 兼広¹、安田 真和¹、浅野 雅稔³、土居 史磨¹、野村 政彰⁴、神川 浩平⁵、山口 泰成⁶、山室 和彦^{1・7}、浦谷 光裕⁸、太田 豊作⁹、岡田 俊¹

1. 奈良県立医科大学附属病院精神科、2. 東大阪市立障害児者支援センター、

3. やまと精神医療センター 精神科、4. 医療法人 祥風会 甘木病院 精神科、

5. 奈良県総合医療センター 精神科、6. やまぐちメンタルクリニック奈良真美ヶ丘、

7. 奈良県立医科大学 健康管理センター、8. 万葉クリニック 子どものこころセンター絆、

9. 奈良県立医科大学 人間発達学

P2-5 18歳未満の食行動症および摂食症群の患者における入院 / 再入院 / 死亡リスクについての検討

○平井 靖明¹、水井 亮¹、北野 肖奈¹、山中 清里¹、生野 兼広¹、衛藤 弓真²、宮崎 茉衣³、杉山 龍⁴、安田 真和¹、土居 史磨¹、金田 東奎⁵、山室 和彦^{1・6}、浦谷 光裕⁷、太田 豊作⁸、岡田 俊¹

1. 奈良県立医科大学 精神医学講座、2. 奈良県総合リハビリテーションセンター 精神科、

3. 天理よろづ相談所病院 精神神経科、4. やまと精神医療センター 精神科、

5. 岸和田こころのホスピタル、6. 奈良県立医科大学 健康管理センター、

7. 万葉クリニック 子どものこころセンター絆、8. 奈良県立医科大学 人間発達学

15:10-16:10

ポスター 5

摂食症 6

司会：天野 雄平（各務原病院）

P5-1 解離症状を呈した神経性やせ症の女児の入院治療

○野村 由紀¹、箱島 有輝²、稲崎 久美²、水本 有紀²、橋本 彩加²、山本 啓太²、宇佐美 政英²

1. 医療法人社団大和会 大内病院、2. 国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター

P5-2 小児総合病院における摂食障害の病型と提供された治療の場について

～静岡県立こども病院における外来 / 児童精神科病棟 / 一般小児科病棟での実践

○伊藤 一之、大石 聡、渥美 委規、八木 敦子、氏家 紘平、増田 直哉

1. 静岡県立こども病院 こころの診療科

P5-3 神経性やせ症における脳由来神経栄養因子（m-BDNF）の可逆的変化と体組成との関連：治療介入前後および健常対照群との比較

○小和田 航太郎¹、中道 秀尚³、幅田 加以瑛¹、塩津 大地²、牧野 拓也⁴、水野 有香¹、眞田 陸¹、神谷 拓¹、高木 大輔³、小坂 浩隆¹

1. 福井大学病院医学部附属病院神経科精神科、2. 鹿児島県立始良病院、

3. 福井大学子どものこころの発達研究センター、4. 福井大学医学部附属病院

14:00-15:00

ポスター 3

ADHD 2

司会：関口 典子（兵庫県立こども病院）

P3-1 奈良県立医科大学附属病院精神科児童思春期外来における注意欠如多動症に対するメチルフェニデートの使用状況について

○北野 肖奈¹、土居 史磨¹、水井 亮¹、山中 清里¹、生野 兼広¹、安田 真和¹、平井 靖明¹、赤木 優月²、吉原 尊浩³、神川 浩平⁴、濱野 泰光¹、石岡 希望⁵、岡崎 康輔⁶、山室 和彦⁷、浦谷 光裕⁸、太田 豊作⁹、岡田 俊¹

1. 奈良県立医科大学精神医学講座、2. 天理よろづ相談所病院精神神経科、

3. 秋津鴻池病院精神科、4. 奈良県総合医療センター精神科、

5. 奈良県総合リハビリテーションセンター精神科、

6. ハートランドしぎさんこどものこころ診療センター、

7. 奈良県立医科大学健康管理センター、8. 万葉クリニック子どものこころセンター絆、

9. 奈良県立医科大学看護学科人間発達学

P3-2 新型コロナウイルス禍における注意欠如多動症児の内在化・外在化問題行動と 祖母のソーシャルサポート、COVID-19の影響による母親の精神症状、養育態度との関連

○小谷 暁子¹、新谷 美穂子¹、石川 菜津美¹、金生 由紀子^{1・3・4}、石井 礼花^{1・2・3}

1. 東京大学医学部附属病院 こころの発達診療部、2. 東京医科大学 精神医学分野、

3. 国立精神・神経医療研究センター（知的発達障害研究部）、4. 全国療育相談センター

P3-3 日本語版 Adult ADHD Self-Report Scale-6 (ASRS-J-6) の青年期への適用可能性：ADHD Rating Scale-5を基準とした妥当性・信頼性の検証

○小野沢 祐哉¹、井出 草平^{2・3}、眞田 陸³、加藤 充訓¹、鈴木 太¹

1. 社会医療法人杏嶺会上林記念病院、2. 多摩大学情報社会学研究所、

3. 福井大学医学部精神医学

P3-4 注意欠如多動症（ADHD）特性と日常生活行為による負荷に関連した疲労感

○仲田 真理子¹、瀬戸川 剛^{2・3}

1. 筑波大学 行動神経内分泌学研究室、2. 富山大学・医学部、

3. 富山大学・アイドリング脳科学研究センター

P3-5 ADHD 特性をもつ人の青年期・成人期初期における発達上の特徴～他の発達特性の併存、診断閾値下を含めて～

○篠田 菜々¹、篠田 直子²、篠田 晴男³

1. 千葉大学大学院 医学研究院 認知行動生理学、2. 信州大学 学術研究院教育学系、

3. 立正大学 心理学部

15:10-16:10

ポスター6

ADHD 3

司会：堀内 真希（公益財団法人 松原病院 精神科・神経科）

P6-1 **メチルフェニデートおよびリスデフィサンキサミンの投与により幻覚妄想が出現した ADHD 女児の一例**

○石津 良子、會田 千重、大坪 建、佐川 陽子、瀬口 康昌、浪花 孝明、諸岡 知美、山下 葉子、山元 美和子、三好 紀子、近藤 萌
肥前精神医療センター

P6-2 **通常学級に通う児童における睡眠習慣と注意欠陥・多動性障害症状の縦断的関連性**

○武貞 真未¹、菊知 充^{1・2}
1. 金沢大学 子どものこころの発達研究センター、2. 金沢大学 医学系精神行動科学

P6-3 **留学生における ADHD 特性の臨床的検討**

ー診断補助として CAARS を用いた事例の後方視的調査からー
○小川 しおり¹、山脇 かおり²

1. 名古屋大学 総合保健体育科学センター、
2. 国立障害者リハビリテーションセンター病院 小児科・児童精神科

P6-4 **大規模レセプトデータベースを用いた国内における注意欠如・多動症治療薬の単剤処方率及び併用処方の実態**

○鈴木 龍太郎^{1・2・3・4}、稲田 健^{1・2}
1. 北里大学医学部 地域児童精神科医療学、2. 北里大学医学部精神科学、
3. 北里大学大学院医療系研究科、4. 明治薬科大学 公衆衛生・疫学研究室

P6-5 **注意欠如多動症の描画特徴に関するレビュー**

○武田 俊信
龍谷大学心理学部

1 日目 11 月 13 日（木）I 会場 ハピリン 3F ハピリンホール

14:00-15:30

シンポジウム 2

子どもの性別違和

司会：館農 勝（さっぽろ悠心の郷 ときわ病院 ときわこども発達センター）

司会：松本 洋輔（岡山大学学術研究院医療開発領域 ジェンダーセンター 講師）

S2-1 **小児期・思春期の性別違和・性別不合と日本精神神経学会・日本 GI 学会の「性別不合に関する診断と治療のガイドライン第 5 版（2024 年）」について**

松本 洋輔（岡山大学学術研究院医療開発領域 ジェンダーセンター 講師）

S2-2 **子どもの性別違和への医療支援の実際**

康 純（関西大学 保健管理センター）

S2-3 **性的マイノリティが疑われる子どもへの幼児期、学齢期の所属での支援**

中山 浩（川崎市南部児童相談所 児童精神 担当部長）

S2-4 **ジェンダーが多様な子どもたちの個性をコミュニティで見守ること**

ー医療的診断やケアにかかる手前の心理的支援ー
吉野 真紀（日本福祉大学 教育・心理学部 心理学科 教授）

15:40-17:10

シンポジウム 5

子どもの性被害への対応と治療 ～性被害ワンストップセンターとの連携を巡って

司会：定本 ゆきこ（京都少年鑑別所 医務課 医務課長）

司会：庄 紀子（神奈川県立こども医療センター 児童思春期精神科 部長）

S5-1 **性暴力・性犯罪被害者のためのワンストップ支援センターと連携した、子どもの性被害の治療・支援の現状と課題**

古橋 功一（藤田医科大学 医学部精神神経科学講座 准教授）

S5-2 **『日本の CAC（チルドレンズ・アドボカシー・センター）の現状と課題』**

田崎 みどり（子どものこころとからだのクリニック CAC かながわ）

S5-3 **性暴力被害者のためのワンストップセンターにおける子どもの性被害への支援の現状と課題**

周藤 由美子（ウィメンズカウンセリング京都 京都 SARA）

17:20-18:50

シンポジウム 8

神経発達症のある子をもつ親の様々な状況ー親の障害受容・親支援 再考

司会：太田 豊作（奈良県立医科大学 人間発達学）

司会：眞田 陸（福井大学 医学部精神医学）

S8-1 **神経発達症のある子をもつ親の様々な状況**

阪上 由子（滋賀医科大学 小児科学講座（小児発達支援学部門）特任准教授）

S8-2 **見えにくい SOSー神経発達症のある子を育てる親の不安と抑うつ**

増田 史（滋賀医科大学 精神医学講座）

S8-3 **神経発達症のある子どもの支援に向かう親たちーペアレント・トレーニングに参加する親の心理ー**

久保 信代（ 関西福祉科学大学 心理科学部 心理科学科 教授）

S8-4 **親と子、それぞれの語る QOL：ASD 児の心理的支援に向けた多面的アプローチ**

山室 和彦（奈良県立医科大学 健康管理センター・精神医学講座）

1日目 11月13日（木）J会場 ハピリン 4F リハーサル室	
14:00-15:00 一般口演 3 素行症・児童相談所 司会：柴田 真理子（豊中市児童相談所）	
03-1	支援方針を理解・受容することが困難な養育者への、児童福祉司などとの協働による視覚的援助ツールを用いた支援の試み ○境 玲子、中山 浩 川崎市南部児童相談所
03-2	一般成人病棟における素行症の児童期患者の診療において保護室は有用か ○工藤 紀和 ¹ 、内田 裕子 ³ 、辻元 健太郎 ^{1・2} 、栗添 恵理 ^{2・4} 、佐々木 彩恵子 ^{2・5} 、才田 晴奈 ^{2・5} 、宇留野 圭 ^{2・5} 、磯部 昌憲 ^{1・2} 、稲葉 啓通 ^{1・2} 、村井 俊哉 ^{1・2} 、上月 遥 ^{1・2} 1. 京都大学医学部附属病院 精神科神経科、 2. 京都大学医学部附属病院 児童思春期こころの相談センター、 3. 京都市児童福祉センター診療所 児童精神科、4. 京都大学医学部附属病院 臨床心理室、 5. 京都大学医学部附属病院 小児科
03-3	子どもの逸脱行動の背景に想定される精神病理：若年パーティ症候群（仮称）について（2：行為障害（ICD-10）概念との比較 吉岡 眞吾 愛知県精神医療センター
03-4	児童相談所の過剰運用と制度的課題：親子分離・一時保護の現状と子どもの人権尊重・福祉向上を目指した制度改革の必要性 生月 弓子 ^{1・2} 1. 浜田病院 お茶の水、2. 医療法人 燈明会
15:10-16:10 一般口演 6 外来・入院統計 1 司会：西野 良（京都大学医学部附属病院先端医療研究開発機構）	
06-1	埼玉医科大学病院における児童青年期の自殺未遂による急性中毒患者の臨床的特徴 ○原田 舟、桑原 斉 1. 埼玉医科大学病院 神経精神科・心療内科
06-2	AYA（Adolescent and Young Adult）世代病棟における多職種の役割 開設後の取り組みと課題の検討 ○松本 和美、山本 佳将、吉見 謙一、佐野 樹、久納 一輝、森川 将行 1. 三重県立こころの医療センター
06-3	和歌山県立医科大学附属病院の子どものこころ外来開設後の患者の動向 ○魚谷 和史 ¹ 、石山 雄大 ¹ 、和田 由佳 ¹ 、藤林 舞 ¹ 、平田 真之将 ^{1・2} 、紀本 創兵 ¹ 1. 和歌山県立医科大学附属病院 神経精神科、2. 和歌山県立こころの医療センター
06-4	児童精神科における診察時間と長時間化の要因 ○河邊 憲太郎 ^{1・2} 、見山 朋恵 ² 、越智 麻里奈 ³ 、堀内 史枝 ^{1・3} 1. 愛媛大学大学院医学系研究科 児童精神医学講座、2. 一般財団法人創精会 松山記念病院、 3. 医療法人佑心會 堀江病院

16:20-17:20

一般口演 9

外来・入院統計 2

司会：山根 謙一（九州大学病院 子どものこころの診療部）

- 09-1 横浜市地域療育センターから継続して横浜市総合リハビリテーションセンターを利用した発達障害児 64 症例の中学高校期の利用状況調査～その 2 ～相談内容から見える発達障害児の中学高校期の課題と求められる支援
○須田 恭平¹、湯田 京子²、塙 由美子²、大園 啓子^{1・2}
1. 横浜市北部地域療育センター、2. 横浜市総合リハビリテーションセンター
- 09-2 横浜市地域療育センターから継続して横浜市総合リハビリテーションセンターを利用した発達障害児 64 症例の中学高校期の利用状況調査～その 1 ～発達障害児の中学高校期の実態調査」
○湯田 京子¹、須田 恭平²、塙 由美子¹、大園 啓子^{1・2}
1. 横浜市総合リハビリテーションセンター、2. 横浜市北部地域療育センター
- 09-3 平谷こども発達クリニックにおける開設 24 年間の神経発達症 5000 名のデータ解析 第 1 報：自閉スペクトラム症・注意欠如多動症・読字障害（発達性ディスレクシア）の診断の変遷
○平谷 美智夫¹、滝口 慎一郎¹、平谷 清吾^{1・2}、川谷 正男³、小坂 拓也^{1・4}、前田 夢吉^{1・4}、五十嵐 淳平⁵、石飛 信⁶、荻野 和雄⁷、熊崎 博一⁸
1. 平谷こども発達クリニック、2. 松原病院精神科、3. 福井県こども療育センター、
4. 福井大学医学部小児科、5. 金沢大学小児科、6. 仁恵病院、7. 福井厚生病院、
8. 長崎大学医学部精神神経科学
- 09-4 平谷こども発達クリニックにおける開設 24 年間の神経発達症 5000 名のデータ解析 第 2 報：神経発達症同胞例 915 名（430 家系）の検討
○滝口 慎一郎¹、平谷 清吾^{1・2}、平谷 美智夫¹川谷 正男³、小坂 拓也^{1・4}、前田 夢吉^{1・4}、五十嵐 淳平⁵、石飛 信⁶、荻野 和雄⁷、熊崎 博一⁸、
1. 平谷こども発達クリニック、2. 松原病院精神科、3. 福井県こども療育センター小児科、
4. 福井大学医学部小児科、5. 金沢大学小児科、6. 仁恵病院、7. 福井厚生病院、
8. 長崎大学医学部精神神経科学
- 09-5 平谷こども発達クリニックにおける開設 24 年間の神経発達症 5000 名のデータ解析 第 3 報：読字障害（発達性ディスレクシア）の診断例の増加と注意欠如多動症のディスレクシアへの高い併存率
○平谷 清吾^{1・2}、滝口 慎一郎²、平谷 美智夫²、川谷 正男³、小坂 拓也^{2・4}、前田 夢吉^{2・4}、五十嵐 淳平⁵、石飛 信⁶、荻野 和雄⁷、熊崎 博一⁸
1. 松原病院精神科、2. 平谷こども発達クリニック、3. 福井県こども療育センター、
4. 福井大学医学部小児科、5. 金沢大学小児科、6. 仁恵病院、7. 福井厚生病院、
8. 長崎大学医学部精神神経科学

17:30-19:00

症例検討 2

司会：関 正樹（医療法人仁誠会 大湫病院）

スーパーバイザー：田中 究（兵庫県立 ひょうご こころの医療センター）

- C2-1 易怒性の改善後に抑うつをきたし不登校となった自閉スペクトラム症の一例
立花 春子¹、辻井 農亜²
1. 富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座、
2. 富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座